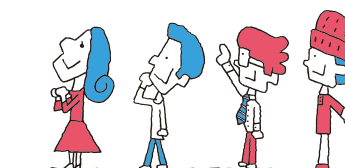
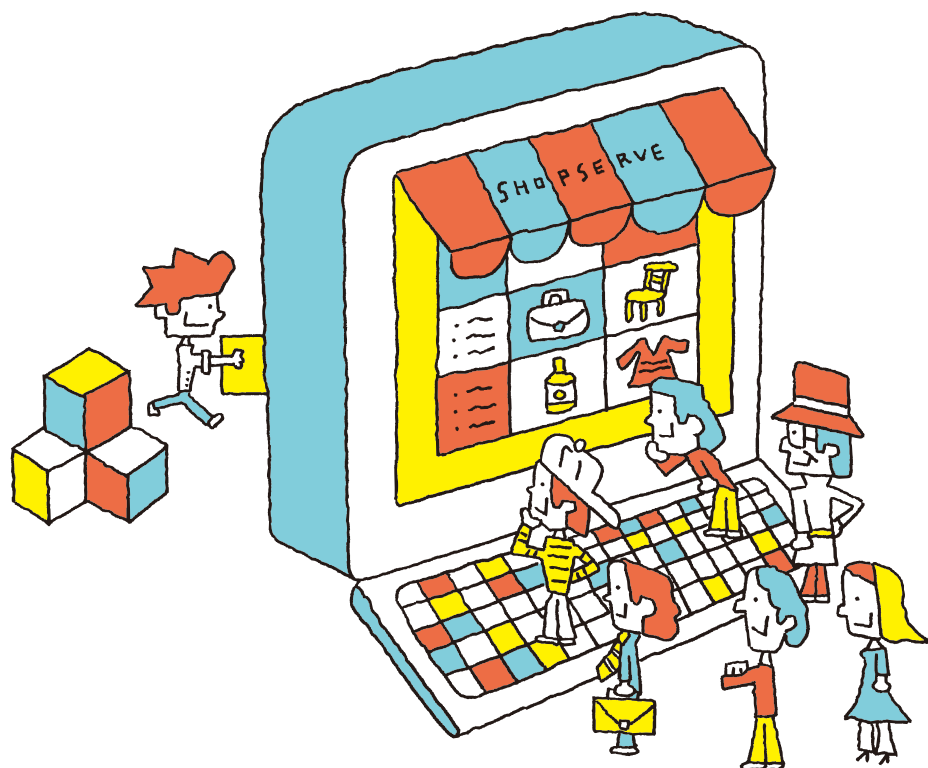


ONLINE MARKETING AND SYSTEMS

Estore

第13期 事業報告書

平成22年4月1日 ▶ 平成23年3月31日



株式会社Eストアー

ONLINE MARKETING AND SYSTEMS

Estore

**日本中をウェブショップ
だらけにしたい**

インターネットで皆の日本経済をつくる

資本力に抛らず、誰にでも同じだけ、チャンスのあるインターネットの世界。私たちEストアーは創業の1999年以来、インターネットの出現で世の中は激変し、良くなると考えています。

インターネットは、ニーズの多様化と極少分散、そしてマーケットの変化を産み出しました。

『大、多、力、量』の時代から、『小、少、心、質』の時代に切り替わったのです。つまり、『小さな会社が、少ない商品を、心と品質で売る経済』。

これがインターネットが社会を変え、万人にチャンスをもたらす本質です。その主役が、私どものお客様ご自身であると確信しています。ウェブショップで楽しく仕事をして頂きたい。そう願っています。

**ヒトが悦ぶ笑顔を
見ることが自分にとって
最大の宝物**

ヒトが喜ぶことを因果とし、 その応報としてお金を頂き成立したい

この言葉が心の頂点にある人がEストアーに集まっています。

なぜなら、社会は急速に資本力や権力というものから、愛される力と権威が大切な世の中に切り替わっているからです。

商売は、心が動くから、お金が動く。あたりまえの自然の摂理です。

このキーワードで満たされた企業やヒトは、そのサイズによらず成功し、社会に愛され祝福される。

Eストアーはそう考えています。



代表取締役
石村 賢一

「事業で良い国づくり」を。 さらなる成長を目指した積極的な投資を展開

Q ウェブショップ市場の成長が続いていますが、今後の市場動向についての見方をお聞かせください。

A ウェブショップ市場に関しては、世の中ではふたつの見方があると思います。ひとつは初期発展段階を越えて、そろそろ飽和状態に入ったという見方、もうひとつはまだまだ成長の余地があるという見方ですが、私どもは後者のまだまだ可能性がある、というスタンスに立っています。もちろん、その指標の起点をどこにもっ

てくるかにもよりますが、昨年末を基準とした場合、市場規模は8.6倍にまで広がると見えています。そもそもこの数字自体も慎重なもので、これが実現しても、全国の事業所数100万社の1%台しかEコマースを利用していない、という状況です。

さらに、ウェブショップ市場の10年を振り返ると、当初はいわゆる愛好家を中心とした市場でしたが、ここ数年、同業他社が後追いで進出してきたことにより、ようやく普通の市場に成長してきました。とりわけ、この2～3年は中小企業だけではなく、中堅・大手企業からの問い合わせが日を追うごとに増加しています。当社の場合、毎月の資料請求は1,200～1,400件ありますが、そのうちの5%程度は誰もが知っている大手企業からのご請求です。ここにきてようやくウェブショップ市場の本格的な拡大が始まったと捉えています。

一方、消費者サイドから見た場合も、インターネットに対する知識が豊富で可処分所得が高い45歳±10歳の世代の利用者が、これから増えてくるこ

とに私どもは着目しています。この世代は向こう15年で17%程度伸びると算出されているため、その消費者市場自体もさらに拡大していくことでしょう。

インタビュー 紹介



雨宮 京子（あめみや・きょうこ）

プロフィール

経済キャスター・ジャーナリスト。日興証券在職中に、100億円近い預かり資産を動かして“全国トップレディ”として社内表彰を受ける。同社退職後は、アナウンサー、レポーター、キャスター、記者をはじめ、雑誌連載、講演会などで活躍中。

トップインタビュー



Q では、どのような市場イメージを描いていますか。

A 流通において仕入れや卸といったビジネスは、ネットの社会が進めば進むほど仲介業者として利益率を追求することが難しくなるので、そうした意味でもウェブショップ市場の拡大は加速すると思われます。エアラインの世界は、かつて航空会社のもとに約8,000店舗の旅行代理店がありましたが、そうした業界構造も再編され、今では誰でも直接格安チケットを買うことが当たり前になっています。おそらく物販の世界も同様に変化していくのではないのでしょうか。

さらに、物販の世界では、かつては大量生産ロットが揃わないと流通として成立しませんでした。数がないと仕入れられないし、販売もできない——こ

うしたものでしたが、ネットの世界では仕入れも卸もないので100とか1,000といった数ですぐさま商売することができます。仕入れのない商社というイメージでしょうか。もはや、大量生産され安く売られているみんなと同じ商品を我慢して使う時代ではありません。また、これからはソーシャルネットワークのように、信頼と人脈といった人的繋がりがさらに重要になってくると思われます。

Q 当期の業績について教えてください。

A 契約店舗数に連動して得られるサービス利用料等（ストック）が堅調に推移した一方で、各店舗の売上に連動して得られる代行料（フロー）が大幅に伸張し、特に自社販路の店舗系サービスの拡大がその好循環を支えています。売上構成面で3年前から戦略的に重視してきたフローの成長が具現化してきたことによって、売上高、営業利益ともに、過去最高を記録し、8期連続増収増益となりました。売上高は40億68百万円（前年同期比11.7%増）、営業利益6億3百万円（前年同期比20.6%増）、経常利益5億91百万円（前年同期比17.0%増）、当期純利益3億28百万円（前年同期比14.3%増）と、引き続き2桁成長の増収増益となりました。

Q このたびの震災の影響はありますか。

A 本年3月に発生した東日本大震災により被災された地域の皆様、および関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。いまだ予断を許さない状況は続いておりますが、被災地が一日も早く復興することを心から願っています。

当社につきましては、人的被害、設備等への被害はないものの、国内景気に震災が与える今後の影響については十分に注視してまいります。また、こうした時期こそ「事業で良い国づくり」という当社スローガンに基づき、さらなる成長を目指した積極的な投資を展開してまいります。



Q 今後の投資について教えてください。

A 一番考えていますのは、やはり人材です。採用という意味では優秀な方を大量に採用したいと考えています。私どもが求めている人材はふたつのタイプで、まずひとつはこれまでしっかり経験を積んできた方です。そして、もうひとつは素直で元気な若手の人材です。さらに、地方の拠点も増やしたいと思っています。ネット企業で地方拠点というと違和感があるかもしれませんが、ネットにおいて場所は関係ないようでも、人はやはり近いところにオフィスがあると安心するものなのです。すでに、私どもには大阪に拠点がありますが、今後は福岡、札幌などにも拠点を構えたいと考えています。

Q 会社の中長期的な展望をどう見ていますか。

A 「ネット事業」という概念から抜け出し、10年後は9つある事業のひとつになっている——そんなイメージを持っています。その9つの事業のうち手始めに今期ふたつをスタートしようと考えています。そのひとつが人材派遣会社である㈱ECパートナーズです。現在は単に営業職、事務職ですが、ウェブデザインやネット広告を入札できるといった人材に特化した、今後、需要が

伸びそうな人材を供給する企業を目指します。今後3～5年は、今まで築き上げた事業領域に磨きをかける一方で、新たな事業を展開する将来から逆引きして準備する期間になります。現在の事業も始めた時点では、誰にも相手にしてもらえない状態でしたが、納得ができるものを築けましたし、後続の会社も出てまいりました。

Q 最後に株主の方に対してメッセージをお願いします。

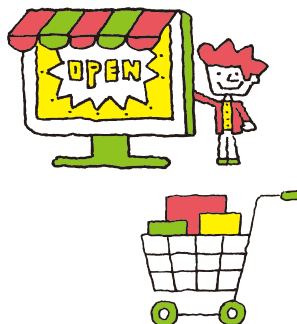
A 当社は、まだまだ成長余地が大きい企業です。とにかく強調させていただきたいのは、未来のために資金を積極的に投じる企業ということです。株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



主要サービス紹介

**Eストア
ショップサーブ**

自社ウェブショップのサイト構築から集客、運営、宣伝まで、必要な機能を初めからすべて揃えて店舗様に提供するウェブショップ開店・運営の総合パッケージです。ブログ感覚であつという間にショップが完成し、注文処理も機能的でラクに運営できます。成功のためのノウハウが身に付く「売れる仕組み」も充実。2006年1月よりサービスを開始して以来、多くのご利用者様からご好評いただいています。



ショッピングフィード
 SHOPPING FEED

ショップサーブ、サイトサーブに標準装備された集客サービスです。消費者がたくさん訪れる50以上の有名サイトと提携しており、ブログなどの個人ページや情報サイトの“口コミ”等から、消費者が舞い込んでくる仕組みです。提携サイトも続々増加中で、当社サービスをご利用中の店舗様の業績向上に貢献しています。



**Eストア
サイトサーブ**

当社が提供する、ウェブショップ専用の高機能レンタルサーバーです。ウェブショップ運営に必要な機能がまとめて標準装備されたサーバーで、当社が1999年から運用を続ける安心のブランドです。

お客様ショップ紹介

セーラー万年筆株式会社

セーラー万年筆 公式オンラインショップ


<http://sailorshop.jp/>

今年で会社創立100周年を迎えた、セーラー万年筆株式会社の公式ショップ。培った技術で新商品を続々発売中。


 お取扱商品 万年筆
**エス・ケイ・ワイ販売株式会社**

サクマ製菓株式会社 オンラインショップ サクマ キャンディマーケット


<http://skyhanbai.com/>

サクマ製菓株式会社の公式ショップ。サクマドロップスはもちろん、大袋のいちごみるくなど、いろいろなタイプが並び。


 お取扱商品 お菓子
**株式会社ミルクティー**

授乳服とマタニティ服の Milk tea


<http://junyu-fuku.com/>

マタニティ服にターゲットを絞った専門店でありながら、幅広く女性の支持を受ける。E ストアアワード連続受賞中。


 お取扱商品 マタニティ服


■ Googleショッピングとパートナー契約

Google側が必要とするデータ（製品の型番、重量、幅など）に対応することができ、Googleショッピングで購入者に検索されやすくなりました。



■ ネットショップ大賞®(2010年度)を開催

Eストアのサービスを利用するすべての店舗様の中から、もっとも優秀な成績を収められた95店舗に「ネットショップ大賞」をお贈りし、表彰いたしました。当日は授賞式のほか、店長さんによるパネルディスカッションや店長交流会も開催しました。



(上) 金、銀、銅賞の表彰の様子



■ 地方活性化ワークショップを全国6ヶ所で開催

新たな販路拡大、地域活性の目玉としてECに注目する地方自治体と、Eストアが「ネットショップ開店のためのワークショップ」を共催しました。長野県、山形県、茨城県……など全国6ヶ所で開催。セミナーの様子はメディアでも紹介されました。

長野県伊那市
商工会議所
主催のセミナー
(テレビ信州)



山形県立農業大学校による
学生向け講義

■ 機能強化策の実施

システムの高速安定稼働を目指すために、高速安定化プロジェクトを発足。定量的に状況を把握する仕組みの構築ならびに、迅速に対応できる運用体制を整備しました。また、インターネットの世界は刻々と進化していることから、ウェブショップ業界も市場のニーズに対応した、お客様の商売繁盛に役立つさまざまな機能を新たに追加いたしました。

主な新機能

- 各ソーシャルネットワークに対応
「Twitter つぶやく」「Facebook いいね!」
「mixi チェックボタン」設置できます。
- クレジットカード決済の不正利用防止機能
購入時にセキュリティコードの入力が可能となりました。

今後の機能追加

- スマートフォン対応!
携帯電話やスマートフォンなどの端末からお店ページにアクセスしたとき、最適な画面を表示。快適なお買い物環境を提供いたします。

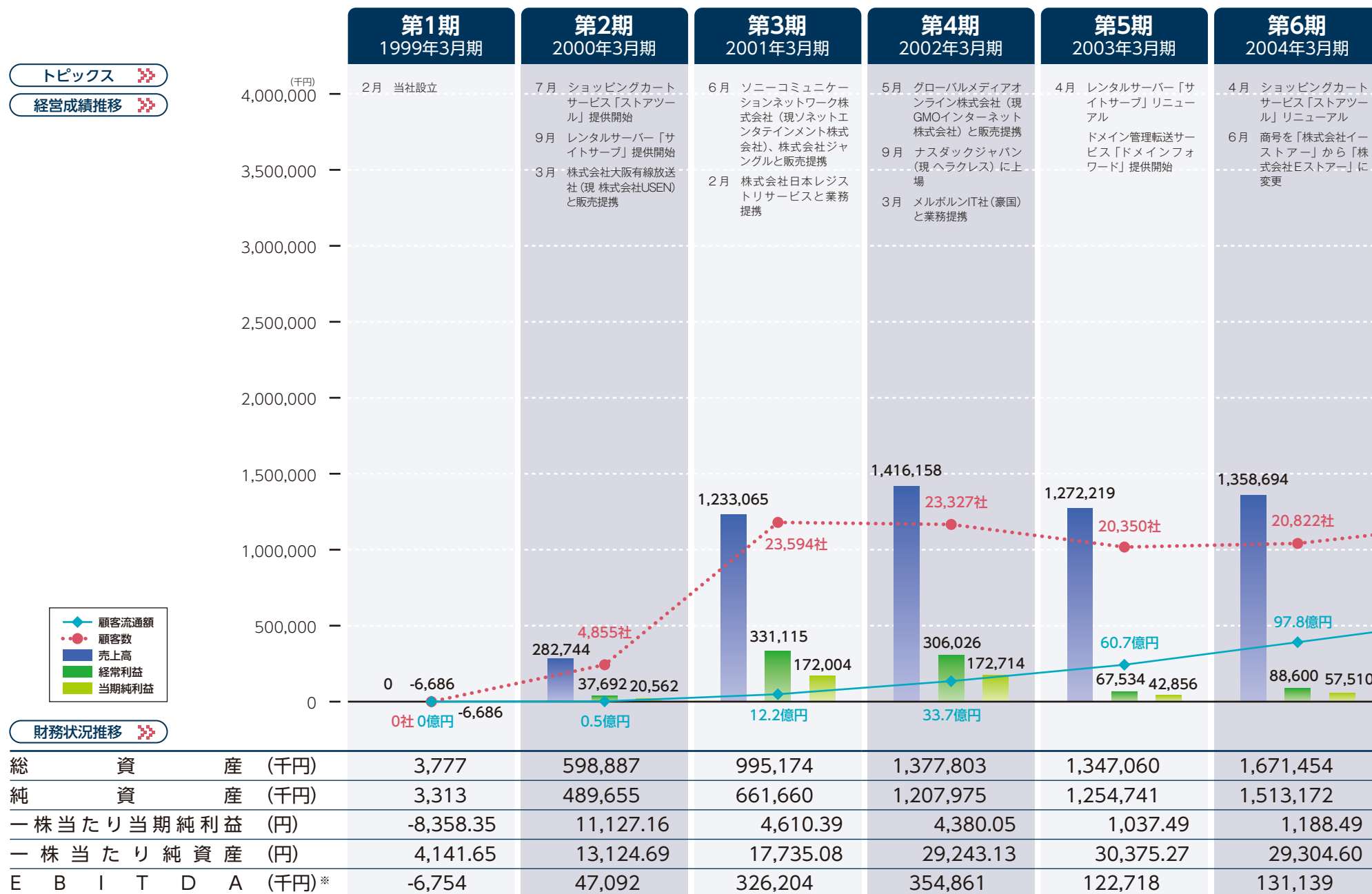
Eストアの歩み

トピックス

経営成績推移

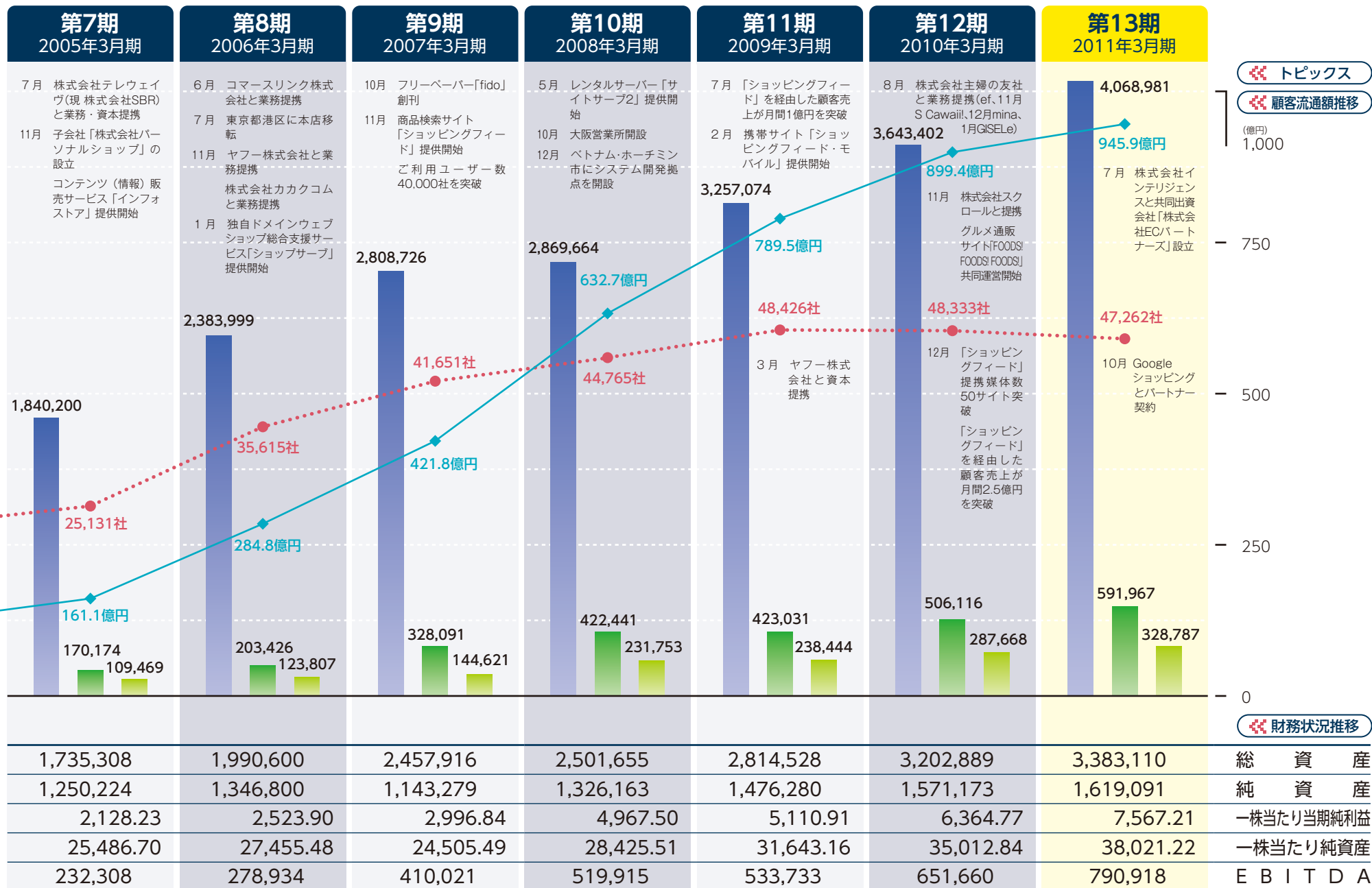
顧客流通額
顧客数
売上高
経常利益
当期純利益

財務状況推移



*営業利益+減価償却費(CF)

株式会社 Eストアー



財務諸表

貸借対照表 (要旨)

平成23年3月31日現在

区 分	金額 (千円)
(資産の部)	
流動資産	2,595,243
固定資産	787,866
有形固定資産	214,625
無形固定資産	292,985
投資その他の資産	280,255
資産合計	3,383,110
(負債の部)	
流動負債	1,753,694
固定負債	10,323
負債合計	1,764,018
(純資産の部)	
株主資本	1,612,347
資本金	523,328
資本剰余金	539,408
利益剰余金	1,541,462
自己株式	△991,853
評価・換算差額等	4,504
新株予約権	2,239
純資産合計	1,619,091
負債純資産合計	3,383,110

損益計算書 (要旨)

自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日

区 分	金額 (千円)
売上高	4,068,981
売上原価	2,286,085
売上総利益	1,782,895
販売費及び一般管理費	1,179,209
営業利益	603,686
営業外収益	7,310
営業外費用	19,029
経常利益	591,967
特別利益	22,999
特別損失	51,880
税引前当期純利益	563,086
法人税、住民税及び事業税	245,640
法人税等調整額	△11,342
当期純利益	328,787

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日

区 分	金額 (千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	634,818
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,501
財務活動によるキャッシュ・フロー	△297,435
現金及び現金同等物に係る換算差額	△236
現金及び現金同等物の増加額	264,645
現金及び現金同等物の期首残高	1,708,643
現金及び現金同等物の期末残高	1,973,289

財務のポイント

Point 1 流動資産

現金及び預金の増加264,645千円、売上高増加に伴う売掛金の増加29,310千円等により、流動資産の残高は、前事業年度末比で321,137千円増加いたしました。

Point 2 固定資産

サーバー等の購入に伴う器具備品の増加45,821千円、有形固定資産の減価償却に伴う減少89,012千円、投資有価証券の売却と再評価に伴う減少131,598千円等により、固定資産の残高は、前事業年度末比で140,917千円減少いたしました。

Point 3 流動負債

当社顧客の売上増加に伴う預り金の増加113,457千円、未払消費税等の増加14,067千円等により、流動負債の残高は、前事業年度末比で121,978千円増加いたしました。なお、有利子負債は引き続き発生しておりません。

Point 4 純資産

純資産の残高は、前事業年度末比で47,918千円増加いたしました。これは、当期純利益として328,787千円を計上した一方、配当金87,408千円と自己株式取得209,609千円があったことによります。また、利益を投資と株主還元バランスよく配分しているため、自己資本比率は47.8%（前事業年度末比1.2ポイント減）となっております。

Point 5 キャッシュ・フローの状況

営業活動により増加した資金は634,818千円（前事業年度は680,697千円の増加）となりました。一方、システムへの継続的な投資と投資有価証券の売却等を中心とした投資活動により72,501千円の資金が減少しました。また、配当金の支払と自己株式の取得による財務活動により297,435千円の資金が減少しました。

株主資本等変動計算書 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算 差額等	新 株 予約権	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他有価証 券評価差額金		
平成22年3月31日 残高	523,328	539,408	1,300,083	△782,244	1,580,577	△11,126	1,722	1,571,173
事業年度中の変動額								
剰余金の配当			△87,408		△87,408			△87,408
当期純利益			328,787		328,787			328,787
自己株式の取得				△209,609	△209,609			△209,609
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）						15,631	516	16,148
事業年度中の変動額合計	—	—	241,379	△209,609	31,769	15,631	516	47,918
平成23年3月31日 残高	523,328	539,408	1,541,462	△991,853	1,612,347	4,504	2,239	1,619,091

株式の状況

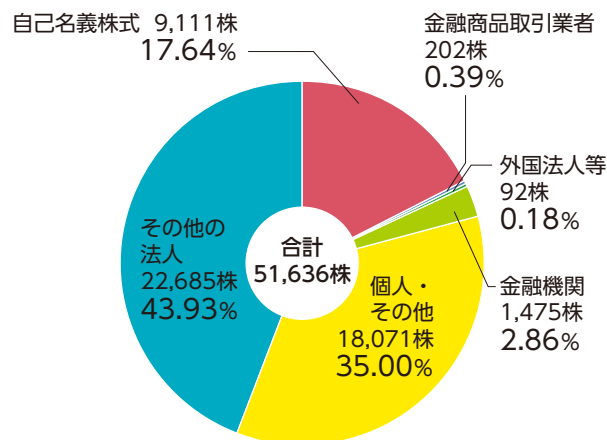
発行可能株式総数 206,544株
 発行済株式総数 51,636株
 株主数 1,646名

■ 株価チャート

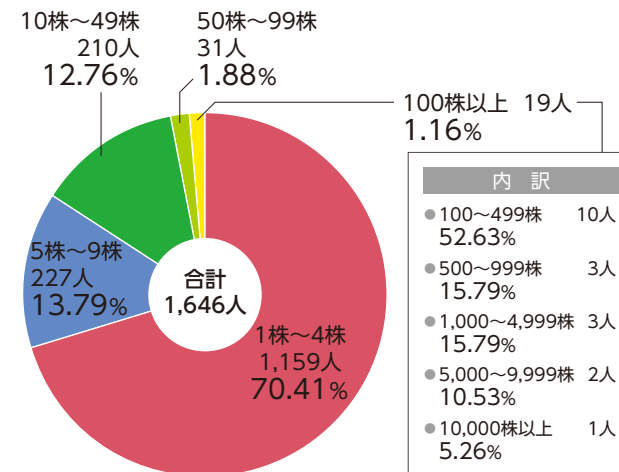


■ 株主分布状況

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL：0120-232-711(受付時間：平日 9:00～17:00)
公告方法	電子公告により行う。 http://Estore.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

〈ご注意〉

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。

会社概要（平成23年3月31日現在）

■会社名	株式会社Eストアー
■証券コード	4304
■上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ
■本社所在地	〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目10番2号
■設立	1999年2月17日
■資本金	5億2,332万円

■従業員数 142名

■役員	代表取締役	石村 賢一
	取締役	曽根 弘一
	取締役	柳田 要一
	取締役	高崎 青史
	社外取締役	今村 耕一
	常勤監査役	田村 誠
	社外監査役	岩出 誠
	社外監査役	中村 渡
		（平成23年6月22日現在）

■事業内容 Eストアーは企業における電子商取引（EC）のあらゆるサービスの提供によりEコマースの成長と発展に寄与しています。

1. インターネット事業用物流、決済、認証、販促、管理等のサービス提供
2. 各種ネットワークサービスの構築、運用、コンサルティング
3. 当社システム並びにサービスのライセンス・OEM提供
 - ウェブショップ総合支援「ショップサーブ」
 - ホスティングサービス「サイトサーブ」
 - ショッピングカート「ストアツール」
 - 通販・お取り寄せ商品検索サイト「ショッピングフィード」